

http://www

VBTJ

ベトナム語の聖書を日本へ

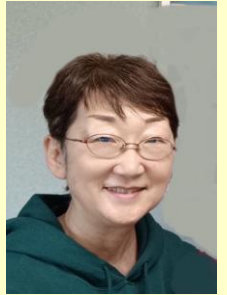
ニュースレター

2025年4月発行
第14号

VBTJ(Vietnamese Bible To Japan) <http://vbtj.org/> toyoshi@io.ocn.ne.jp(長谷川)
<事務局> 〒359-1105 埼玉県所沢市青葉台 1337-1-508 長谷川方 04-2939-8470(TEL&FAX、長谷川)

越日トラクト「3つの愛」

OMF インターナショナル ディアスポラ伝道主事
横山好江



豊留真澄師著「3つの愛」の各ページ見開きでベトナム語版、日本語版を記したトラクトをお届けできますことを大変喜んでおります。

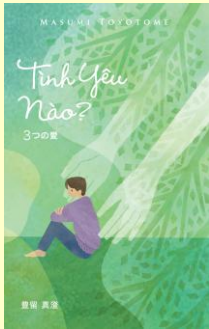
Three Kinds of Love として現在もアメリカで販売され用いられ続けているこのトラクト (Amazon で購入可能) のベトナム語版 Tinh Yeu Nao を、瀬在道晴師 (馬橋キリスト教会牧師) が2018年に短期宣教旅行でベトナムを訪れた際に手にされたのが始まりでした。瀬在師は東京外国語大学でベトナム語を学ばれ、この旅で特別な経験をされました。瀬在師のお証しから引用します。「ハノイのある教会でのことでした。ベトナム語の賛美歌がスクリーンに映しだされた時、ベトナム語の歌詞を歌える自分に驚くと同時に熱いものが胸に込み上げてきたのです。40数年も前に大学に入学しベトナム語を学び、ベトナムの人々と触れ始め、商社マンとしてベトナムで仕事をしたすべての日々が、ベトナムの人々への福音伝達に用いられるためだったのだ、と思えた瞬間です。ハレルヤ、神様、感謝します、と思わず祈りました。」その後、先生は主の導きの中、これを日本語に訳して下さい、私に郵送されたのが2022年2月です。

私が所属する OMF リターニー・フォーカス部は、母国外在住東アジア人を対象としています。母国外在住ベトナム人伝道担当者 P 師から越日トラクトの発案がありました。それを受けて私が動き出しました。P 師と協力して Tinh Yeu Nao の発行元から許可を得ました。その中で豊留真澄師著 Three kinds of Love からベトナム語に訳されたものであることが判明。英語版発行元の IVP に連絡したところ、著者ないしその家族からの許可が必要であると判明。同時に豊留師がネームレス運動を日本で進めておられ、「3つの愛」は1966年にいのちのこことば社で出版されていたと知りました。いのちのこことば社からも著者家族の許可が必要との返答。ここから著者ご家族を探し、アメリカ在住のご家族と連絡が取れ在米の OMF 宣教師を介して交渉が始まり、著者のお子さん達の一致した許可をいただくのに約2年かかりました。OMF 宣教師の同僚である菅家容子さんがご実家の家族ぐるみで豊留真澄師と関係があり、容子師が KGK 関西地区主事として奉仕していた際の春季学校に豊留師を招いたこともあり、そこでは素晴らしい主の御業がなされ、献身者も起こされました。今回の出来事を機に献身者のリユニオンが行われたことも恵みでした。

このようにしてお届けする越日版「3つの愛」が在留ベトナム人の救いのために広く深く用いられるよう切に祈っています。

(注：トラクトの日本語文はいのちのこことば社刊「3つの愛」を用いました。) トラクトを希望される方は、以下まで部数、送付先をご連絡下さい。

hc@omf.or.jp (日本ホームサイドセンター)



目次

1 越日トラクト

「3つの愛」

OMF インターナショナル
ディアスポラ伝道主事
横山好江

2 福音交友会

北信太聖書教会

牧師 輪田 豊
ユオン・ヴー・トゥ
アン

3 日本長老グ

レースハーバー

チャーチ

牧師 青柳聖真
グエン・ティ・タム

4

VBTJ 第5回総

会のご案内、お

よび当団体への

会費納入のお願い



OMF

福音交友会 北信太聖書教会

牧師 輪田 豊

北信太聖書教会は大阪府和泉市（大阪の南部）にあります。教会周辺を歩いていますと外国の方々をしばしば見かけます。妻が仕事をしている介護施設でもフィリピン人女性が働いています。2020年頃までは、フィリピン人やベトナム人の方々が時々、日曜礼拝に出席していました。しかし継続して共に礼拝をささげることには至りませんでした。そこで教会としてどのように「在留異国人」を迎え入れたら良いのかを祈るようになりました。



そのような祈りをして数年経った2024年11月、ベトナム人のトゥアン兄が礼拝に出席なさいました。2010年代とは違い、今は機械翻訳の精度が飛躍的に向上しています。メッセージ原稿をGoogle翻訳でベトナム語に翻訳することで、大まかな内容は伝わるそうです。ちなみに当教会にはイギリス人の高校教師、フィリピン人の宣教師、国際結婚をしたザンビア人も礼拝に集っていきまして、彼ら英語話者にはDeepLを用いています。DeepLの方がGoogle翻訳よりもニュアンスが良く伝わるそうです（今のところDeepLはベトナム語に非対応）。

トゥアン兄は11月中旬に来日し、教会近くのアパートに住んでいます。彼が町を散歩している時、教会を見つけて下さいました。彼は2024年5月にバプテスマを受けたばかりのクリスチャンですが、社会主義国で導かれた彼の信仰は堅いように感じます。毎週欠かさず礼拝を喜んで献げる彼の純粋な信仰を通して、教会の兄姉たちも励まされています。トゥアン兄を通して神様が全地の主であることをますます実感し、御名をほめたたえます。

ユオン・ヴァー・トゥアン

私はユオン・ヴァー・トゥアンと申します。現在、キタガワ工業株式会社で働いています。

私の家族は仏教の伝統を持っていますが、妹がイエス・キリストを信じて受け入れたことをきっかけに、兄も、そして私も信じるようになりました。私は2023年12月にイエス・キリストを人生に迎えました。日本で働く準備をしていたとき、祈りの中で日本のプロテスタント教会をまだ見つけられずにいました。

日本に到着した後、銀行のキャッシュカードを作りに行こうとしましたが、インターネットのない携帯電話では道が分からず迷ってしまいました。銀行を探している途中、北信太聖書教会を見つけました。そこにはチラシがあり、クリスマスや牧師について書かれていました。それを見たとき、とても嬉しくなり、「神様が私に礼拝する場所を与えてくださった！」と感謝しました。しかし、心の中にはまだこの教会に対する不安がありました。

日曜日、私は礼拝に参加しました。皆さんが聖書の御言葉を学んでいましたが、私は日本語があまり得意ではなく、ほとんど理解できませんでした。礼拝が終わった後、牧師はとても親切に接して下さり、日本人だけでなく、ベトナム人の仲間がいる平野教会という教会を紹介して下さいました。

その後、私は毎週日曜日に聖書を学びに通うようになりました。すると、牧師が私のためにベトナム語の説教を準備して下さるようになりました。このことにとっても感謝し、喜びを感じています。

私は母国ベトナムを離れて暮らしていますが、日本にある神様の家で愛と助けを受けることができました。神様に感謝します。

日本長老グレースハーバーチャーチ

～オリーブさんをお迎えして～

牧師 青柳聖真

東京基督教大学（TCU）に入学し、出席教会を探していたオリーブ姉妹が、私たちの教会に顔を見せたのは、コロナでZoomによるオンライン礼拝だった2021年の春でした。しばらくすると、姉妹に誘われて、ベトナム在住の弟たちもオンラインで礼拝に加わるようになりました。Zoom礼拝の中でブレイクアウトルームを活用した分かれ合いの時間を設けていましたが、彼らのグループはベトナム語で交わりを行っていました。ベトナムのご家族の反対もあり、弟さんたちが参加するときは、隠れて押し入れの中から参加してくれていた時もありました。彼らとの交わりを通して、私達も、日本以上に難しいベトナムでの宣教の現実気づかされ、また、私たちのような一地域教会にも何かできることはないかと考え始めるきっかけとなりました。



コロナが終息に向かう中で、対面礼拝が再開した2022年の秋、主の不思議な取り計らいで、弟さんのうちの一人、ピーターさんが、10か月の研修で日本に来ることになり、私たちの礼拝に対面で参加するようになりました。福音が兄弟の心に入っていくのを目の当たりにし、オリーブさんの通訳を介しての聖書の学び会を経て、兄弟は信仰を告白し、2023年のイースターに洗礼を受けました。

コロナの中で、教会が停滞していたように感じていた私たちにとって、主が思ってもいない形で、世界宣教をさせてくださいました。コロナ後の教会の在り方を祈っていた私たちは、その年のテーマ聖句を使徒1:8に定め、世界宣教に具体的にコミットしていく教会になっていきたいと思われました。2023年7月にTCUを卒業した姉妹を教会の3年の短期インターンとしてお迎えさせていただき、2023年、2024年と二回、ベトナムのホーチミン市での英語プログラムをつかった宣教活動に関わらせていただきました。日本という異国の地で日本とベトナムの懸け橋になろうとしている姉妹の姿を通して、私たちの教会は大きな祝福を受けています。今後も、主が開いてくださった世界への扉をしっかりと開け続け、ベトナムでの宣教に関わっていきたく願われています。

グエン・ティ・タム

私はグエン・ティ・タムと申します。オリーブと言います。ベトナムの出身です。不完全で愛情にかけた仏教の家で生まれました。私が幼い頃に両親が離婚し、祖父母の愛情を受けて育ちました。私にとって「自分の人生を変える」ことが夢でした。努力の限りを尽くして、博士課程を修了しました。ある夜をきっかけにすべてが変わりました。2018年12月14日金曜日の夜に聖書についての映画を観た時です。聖書を読み、聖書の神が私の真の神様、天のお父様、ベトナム語で“Ong Troi”と呼ぶ神様であることに気が付きました。聖書を読めば読むほど「神」ご自身を感じるようになりました。2019年10月のある日、ジョギングをしながらスーパーに行く途中、教会の前に立ち寄り祈った（その後、私のホームチャーチである高知中央教会です）。教会のドアが開かれ、誰かが「どうぞ」と声をかけてくれた。私は教会に入り、静かに座りました。日本語で何を言っているのか分からなかったが、とても平和な気持ちになりました。その日から教会に通い続けました。2020年2月頃まで、私は博士課程の課題に失敗したり、孤独になったり、悪い夢（霊的な戦いのようなもの）を見たりと、人生の中でたくさんの葛藤がありました。ある日、私は神様に叫び、イエス・キリストに祈りました。何を祈ったかはよく覚えていません。でもこのような祈りでした：私はプライドが高く、無能で、自分では何もできません。イエス・キリスト、あなたは神であり、主であり、すべてです！その後、私の問題は徐々に解決していきました。博士課程の最終試験にも合格しました。2020年5月31日のペンテコステの日洗礼を受けました。2020年9月から東京基督教大学で神学を学びました。東京基督教大学を卒業後、グレースハーバー教会にインターンとして入り、現在に至っています。これは神様が私に与えてくださった祝福です。神様と御言葉との6年間以上、聖書は私の宝物です。私を愛し、救ってください、いつも共にいてくださる主に感謝してもしきれません。御言葉だけでなく、私のクリスチャン生活の中で起こった多くの出来事からも、主の教えから多くのことを学びました。私は、すべては全能の神によって定められていると信じています。私の最大の夢は、地上にいるときに神の御心を全うすることです。

第 5 回 VBTJ 総会 & VBTJ へのサポートのお願い

VBTJ 代表 長谷川与志充

第 5 回 VBTJ 総会が、以下の日程で ZOOM を用いて行われます。会費をお支払い下さっている会員の方は是非ご参加下さい。会員ではない一般の方もオブザーバー参加が可能です。多くの方々に VBTJ の活動を知っていただきたいので、一般の方の参加も歓迎致します。

日時 2025 年 5 月 31 日 (土) 10:00~11:00 (第一部 総会)
11:00~12:00 (第二部 交流会)

第一部は、VBTJ の活動についての議決を行います。第二部は、これまでニュースレターで紹介したベトナム人が教会に来ている日本の教会の牧師などから、お話を聞いたりする時間を持ちます。お問い合わせは toyoshi@io.ocn.ne.jp まで。

新年度会費納入のお願い

VBTJ の年度は 4 月から翌年の 3 月までとなっており、会員の方は 4 月以降に新年度の会費を振り込み、会員更新をしていただくようお願い致します。引き続き会員として VBTJ の働きをご支援いただける場合は、以下の「入金と支援金のお願い」の枠内に記載されているゆうちょ銀行へ、年会費 (1 口 5000 円) の納入をよろしくお願い致します。

入会と支援献金のお願い

VBTJ は正会員となって下さる個人・教会・団体を募集しています。年会費 1 口 5000 円です。

VBTJ はベトナム語聖書とベトナム語訳三浦綾子書籍の配付のほか、以下の活動を行っています。

- 1) ベトナム語キリスト教書籍の作製
- 2) 日本の教会における在日ベトナム人宣教の支援
- 3) 在日ベトナム人教会の支援

ニュースレター冒頭に記されている事務局 (長谷川) までご連絡の上、以下の VBTJ のゆうちょ銀行の口座に会費または支援献金をご送金いただけたら幸いです。

ゆうちょ銀行 口座名 VBTJ
記号 10300 番号 94675701
他銀行からの場合 店名 ○三八(ゼロサンハチ)
店番 038 普通 9467570

会計報告(2024 年 10 月~2025 年 3 月)

(収入) 支援献金	5,000 円
10 月以降繰越金	448,448 円
預り金	10,000 円
利子	62 円
	計 463,510 円

(支出) ニュースレター制作費	29,290 円
ニュースレター郵送料	54,387 円
ベトナム語 聖書・書籍送料	5,220 円
日本の教会の周縁活動の支援	38,350 円

4 月以降繰越金	336,263 円
	計 463,510 円